

わたしたちができること、ひとつひとつはじめてます!

山形県議会

県政クラブ 便り

みんなで乗り切ろう!



県政クラブは、「新型コロナウイルス対策本部」を立ち上げました!

県政クラブでは、2月27日に安倍総理が全国の小・中・高等学校に対して一斉に臨時休校を要請したことを踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大が山形県においても今後様々な分野に多大な影響を及ぼすことを想定し、2月29日に対策本部を設置すると共に、山形県内の情報収集と集約に入りました。

学校臨時休校の受け皿として過大な要求と期待がなされた学童保育の関係者からは、即座に強い懸念が表明されました。学校よりも狭く、スタッフの数も限られている場所では学校以上に子ども達をクラスター感染の危険に晒しかねないこと、年度末の繁忙期において突然の業務量増加によって事務処理が滞ってしまうこと、政府の人員費負担が十分でなく、臨時にスタッフを増員すれば逆に赤字になってしまうこと等の深刻な問題が浮かび上がってきたため、直ちに知事部局に情報提供と対策の要望を行いました。その後も対策本部では、現在に至るまで継続して様々な団体の代表

及び知事・副知事と新型コロナウイルス禍に対する対応策の協議を続けています。

新型コロナウイルスは、その後も世界中で感染を拡大し、3月4日には、吉村知事が県議会予算特別委員会の冒頭で、山形県主催のイベントやセミナー等を当分の間中止・延期することを宣言して県内における新型コロナウイルスの発症・拡大防止に努めることを表明、更に3月11日には世界保健機関(WHO)が「パンデミック(世界的大流行)宣言」を行い、今なお新型コロナウイルスは世界中で猛威を振るい、多くの国において非常事態宣言や国内の移動禁止、海外への渡航禁止等の措置が次々と打ち出されています。山形県は3月27日時点において、まだ1人も発症者がいない5県の1つであり、これまでの県民の皆様の日常活動の自粛や行政機関の対策は概ね効果的であったと評価できますが、今後も気を抜くことなく、1人の犠牲者も本県から発生しない様に努めてまいります。

本部長 木村忠三

県政クラブ 発言・要請



防災減災・県土強靱化対策委員会において、特別養護老人ホーム等の入居者施設で万が一クラスターが発生した場合の対応策について県政クラブ所属委員が質問し、高齢者施設が第二のダイヤモンド・プリン

セス号にならない様に県内のホテル・旅館等を借り上げて入居者を移動させ、訪問介護・看護・入浴等の社会資源を活用して高齢者の命を守るよう要請。それに対して、阿部薬務・感染症対策室長が、基本的には移動を前提にはしないが、必要な場合はその様な移動措置も講ずることを表明しました。又、厚生環境常任委員会においては、濃厚接触が児童の様に管理できない園児を預かる幼稚園・保育園が最もクラスターになりやすい点を委員が指摘し、高齢者施設等を併設している園における職員の施設間移動を禁じる等の対策を徹底して指導するよう要請しました。

-令和2年- 県政Pick UP

1 知事へ対応策要請活動



飲食業、観光業等、特に新型コロナウイルスによって深刻な被害を受けている各種団体からヒアリングを行い、適切な経済対策を迅速

に行き、県内企業の倒産・廃業等が発生しないよう知事に要望書を提出しました。県信用保証協会の審査の緩和・迅速化、資金繰りが悪化している企業への運転資金の無利子貸付、返済期間の柔軟な対応等が要望書に盛り込まれましたが、県執行部からそれに応える対応策が直ちに発表され、財政出動と金融政策が実行に移されました。

2 山形県主催研修の中止



3月中旬に修了予定だった山形県の介護支援専門員の研修に関して、対策本部に複数の受講生から研修続行に対する懸念の声が届いたため、慎重に長谷川長寿社会政策課長と協議を重ねた結果、最後の2日間に関しては予定されていた集合型研修は実施せず、厚生労働省等の関係機関とも協議・調整のうえで、後日代替措置を取ることに変更。対策本部では、万が一にも山形県の介護現場の中核を担う介護支援専門員の集団がクラスターにならない、と判断しました。

県議会を傍聴してみませんか。

お問い合わせ先

山形県議会

県政クラブ

☎990-8570 山形市松波2丁目8番1号
TEL.023(630)2838 <議会事務局総務課>

山形県議会
県政クラブ 便り
令和2年3月発行

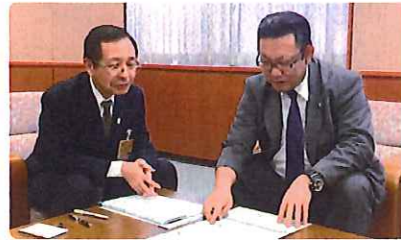
県政クラブ

ただ今10名在籍中!

わたしたちは、こんな活動をしています!



山形市選挙区《4期》
幹事長
吉村 和武
よしむら かずたけ
1973年2月7日生(47才)
●農林水産委員 ●議会運営委員



新型コロナウイルス対策で副知事と意見交換
「県民目線の県政を」

山形市選挙区《4期》
副代表
高橋 啓介
たかはし けいすけ
1952年10月12日生(67才)
●総務委員 ●健康医療特別委員長



住宅リフォーム制度の継続を求めて要請行動を展開
「持続可能な社会を!」

米沢市選挙区《5期》
代表
木村 忠三
きむら ちゅうぞう
1965年7月14日生(54才)
●監査委員 ●建設委員



山形新幹線新車両・アプローチ線建設福島駅調査
「義理人情慈みの政治を」

酒田市・飽海郡選挙区《3期》
総務会長
石黒 覚
いしぐろ さとる
1956年6月25日生(63才)
●文教公安委員 ●議会運営副委員長



コミュニティ振興会収穫感謝祭
「ボトムアップの県政へ」

山形市選挙区《1期》
原田 和広
はらだ まさひろ
1973年4月5日生(47才)
●商工労働委員 ●地球温暖化特別委員



やまぎん県民ホールお披露目式
「#山形デモクラシー」

村山市選挙区《1期》
菊池 大二郎
きくち だいじろう
1982年7月9日生(37才)
●文教公安委員 ●産業競争力特別委員



北村山議員団国会研修
「新時代には新発想を」

寒河江市・西村山郡
選挙区《2期》
松田 敏男
まつだ としお
1942年4月4日生(78才)
●農林水産委員長 ●健康医療特別委員



西川町町道岩根沢線視察
「温故知新」

東根市選挙区《3期》
政調会長
青柳 安展
あおやぎ やすのぶ
1947年2月13日生(73才)
●総務委員 ●地球温暖化特別委員長



議運正副委員長に議会機能強化案手交
「何事も誠実に!」

長井市・西置賜郡
選挙区《2期》
青木 彰榮
あおき しょうえい
1953年12月20日生(66才)
●厚生環境委員 ●議会運営委員



令和2年完成予定、(仮)白鷹大橋を望む
「愛郷無限」

鶴岡市選挙区《1期》
高橋 淳
たかはし じゅん
1967年3月15日生(53才)
●建設委員 ●産業競争力特別副委員長



北海道・東北6県議会研究交流大会
「明るい未来の創造へ」

●…常任委員会 ○…特別委員会

県政クラブ

活動 レポート

現地調査①

県選出国會議員と 意見交換

舟山康江、芳賀道也両参議院議員と、参議院議員会館で、イージス・アショア(地上配備型弾道ミサイル迎撃システム)に関して意見交換を行いました。山形県も日本海側の酒田市、鶴岡市、遊佐町の国有地が再調査の対象になっており、県民の皆様からも周辺地域の安全性に関して懸念の声が聞かれます。イージス・アショアがどの様な過程を経て配備される計画に至ったのか、国会におけるこれまでの経緯を県選出の国会議員が実際どのように考えているのか、率直に伺いました。



現地調査②

防衛省による イージス・システムの 概要説明及び意見交換



イージス・アショアに関して、防衛省の担当者による説明会及び質疑応答を行いました。「イージス艦8艦体制によって本土は防衛可能と以前防衛省が言っていた点との整合性はどうなったのか」、「イージス艦を再度必要な艦数だけ増強すれば事足りるのではないか」、「イージス・システムの穴を付くミサイル運用に対して、アショアであれば全て対応可能と本当に言い切れるのか?」など、多くの質問が提起され、それに対して担当者から説明がなされました。

